福岡アジア美術館
「アジア美術の歩き方　東南アジア編」
会場デザイン・設営等業務委託
仕様書

令和 8 年 10 月

福岡市経済観光文化局

アジア美術館

1　件　名

福岡アジア美術館「アジア美術の歩き方　東南アジア編」会場デザイン・設営等業務委託

2　履行期間

契約締結日から令和 9 年 2 月 26 日（金）まで

3　履行場所

福岡アジア美術館

4　業務の目的

当館のコレクションは、国内外の専門家およびアートファンからは高い評価を得ている一方で、市民の認知度の点では課題がある。そのため本展においては、展覧会の敷居を下げながら、作品の力を最大限に見せる展示空間を設計することで、コアなアートファンはもちろんのこと、市民や観光客の幅広い層に向けて、コレクションの魅力をより効果的に伝えることを目指す。あわせて、館内外に印象的で目を引く看板等を設置し、広報面でのアピール強化を図る。

展覧会名：「アジア美術の歩き方　東南アジア編」
※以下「コレクション展」という。
会期：令和 9 年 2 月 4 日（木）～8 月 29 日（日）
会場：福岡アジア美術館　7 階 アジアギャラリーA・B （約 1000 ㎡）

5　業務内容

（1）コレクション展の会場デザイン、設営一式

※説明会参加申込者に対して配布する下記の別紙①～⑤を参照のうえ計画すること

別紙①　展覧会概要
別紙②　アジアギャラリー図面（白図面）
別紙③　アジアギャラリー天井図面
別紙④　7 階全フロアー図面
別紙⑤　出展作品リスト（サイズ等記載）

（2）展覧会場内のパネル等の提案、デザイン、設置一式

展覧会の挨拶文や各コーナーの解説パネル、キャプションについて、デザインは過去の展覧会を参考に提案すること。

※一般的なパネル解説でも可だが、それ以外の新しい試みが望ましい
※原稿は支給。決定事業者と文字量や内容文を協議していく
※開催中の「アジア美術の歩き方　南アジア特別編」で配布中の「コレクションカード」のケース（約 30 作品分）を、キャプション横に配置する

（３）出展作品に合わせた空間の造作と映像作品の設置・会期中の保守点検および不具合対応等一式

※説明会参加者に対して配布する下記の別紙⑤を参照のうえ計画すること

別紙⑤　出展作品リスト（サイズ等記載）備考欄参照

（４）展覧会場以外のデザイン、設営一式

ア．１階看板サイン（明治通側）

W1540×H1580、木工パネル＋インクジェット出力

イ．1 階・7 階 EV ホールのサイン類

①EV 扉面グラフィック（任意）

W900（450+450)×H1940 ×3 機、出力シート貼り（再剥離可能なもの）

②EV 装飾グラフィック（柱面）（任意）

（左）W290×H1995（右）W310×H1995、出力シート貼り（再剥離可能なもの）

③7 階エレベーターホール正面壁面（必須、造作物再利用不可）

ウ．EV 内装飾

エレベーター内（3 機）ガラス面装飾（任意）

（参考）W1520×H2000×3 機、出力シート貼り（再剥離可能なもの）

エ．7 階総合受付横の装飾またはサイン（空間使用任意、造作物再利用不可、天井部を塞ぐこと）

（参考）W6300×H3000×D645、木工造作にカッティングシート貼り

オ．展覧会場入口の造作または看板サイン

①7 階アジアギャラリー出入口タイトルサイン（必須、造作物再利用不可）

②7 階アジアギャラリー受付壁面ポスターパネル（必須）

W2270×H728（ポスター部分)、出力シート貼り

③7 階アジアギャラリー受付腰壁グラフィック（任意）

W1500×H1000×2、CP 出力貼り

カ．館外 7 連バナー、

W700×H1650×7 点　ターポリン

※上記以外の館内の演出についても提案可能

※基本デザインは支給可能、ただしサイズに応じて加工すること

※過去のデザイン例については、説明会参加者に対して配布する下記の別紙⑥を参照

別紙⑥　過去の展覧会における展覧会場以外の記録写真一式

※本展メインビジュアルについては、説明会参加者に対して配布する下記の別紙⑦を参照

別紙⑦　本展チラシラフ案

（５）会場デザインの考慮点・その他注意点

① 空間のデザイン・雰囲気の演出

アジア美術をこれまであまり見たことのない来場者でも「入ってみようかな」と感じうるような、敷居は低く、関心を喚起するような雰囲気を演出することが望ましい。

曲線や曲面を用いて空間を構成し、東南アジアの国々をめぐっている雰囲気を演出することが望ましい。

② 順路

動線をわかりやすくすること。

入口と出口が同じになるため、出口のみをストリングカーテンのようなもので覆うなど、出入りする来場者が混乱しないよう配慮すること。

③ 展示構成

担当者が作成した図面に必ずしも従う必要はなく、新しい提案をおこなうことが望ましい。ただし、各パートの構成順序は入れ替えないこと。また、空間の形にアレンジを加えることや、各パート内で作品の展示順序を一部変更することは可能。

④ その他

作品、展示位置や順序などは、コンペ後、変更が生じる可能性がある。その際に、ある程度造作に変更が出る可能性があることを考慮すること。

会場施工後、作品展示期間中にも造作の調整等が生じるため、随時対応できるような体制を組むこと。

6　スケジュール

会場施工：ギャラリー内：令和9年1月25日(月)～27日(水)[3日間]

ギャラリー外：令和9年1月27日(水)

※ギャラリー外（フリースペース）での作業は、来館者の安全のため、できる限り休館日（水曜日）か閉館時間に行うこと

（参考）作品展示：令和9年1月28日(木)、29日(金)、2月1日(月)～3日(水)[5日間]

7　問い合わせ・提出先

福岡アジア美術館学芸課

担当：椋橋(くらはし)　kurahashi.a03@city.fukuoka.lg.jp

松野（まつの）　matsuno.m02@city.fukuoka.lg.jp

〒812-0027　福岡市博多区下川端町3-1　リバレインセンタービル8階

TEL：092-263-1104　FAX：092-263-1105